

国際高等研究所 研究プロジェクト  
「設計哲学－俯瞰的価値理解に基づく人工財の創出と活用による持続可能社会を目指して」  
2014年度第3回（通算第3回）研究会プログラム

日 時：2015年1月23日（金） 13：30～17：30  
1月24日（土） 9：30～12：00

場 所：国際高等研究所 セミナー2（2F）

出席者：（11人）

研究代表者 \*\* 梅田 靖 東京大学大学院工学系研究科教授  
参加研究者 岩田 一明 大阪大学名誉教授  
上須 道徳 大阪大学環境イノベーションデザインセンター特任准教授  
小野里 雅彦 北海道大学大学院情報科学研究科教授  
思沁夫 大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授  
服部 高宏 京都大学国際高等教育院教授  
堀 浩一 東京大学大学院工学系研究科教授  
村田 純一 立正大学東京大学名誉教授  
RA 長谷川みゆき 大阪大学大学院医学系研究科博士課程  
\*\* スピーカー

話題提供者（ゲストスピーカー）

青木 翔平 東京大学大学院工学系研究科堀研究室博士課程3年

その他参加者

土屋 和雄 国際高等研究所研究推進委員・京都大学名誉教授

趣旨

今回は、前回議論の焦点として浮かび上がった「途上国、新興国における技術の在り方」「途上国、新興国における技術への付き合い方」について議論を深める。そのために技術・設計の視点からの話題提供を行った上で、上記の論点について討論を行う。

①梅田靖委員の話題提供では、本研究会の主要トピックスの一つである、日本の中古製品が海外に輸出され、使用される問題について、事例を交えながら論点を整理する。併せて、マレーシアにおける冷蔵庫の販売状況について現地調査を行ったので、簡単に報告する。

②青木翔平氏(東京大学大学院工学系研究科)は、堀研究室で「発展途上国における創造的問題解決のための設計支援」について学位取得予定の新進気鋭の研究者であり、氏の話題提供では、先進国と様相の異なる、途上国における設計の方法について実践を行った経験を交えながら報告する。

## プログラム

1月23日（金）

13:30 - 17:30

研究会

- ・話題提供「工業製品のグローバル循環と現地主義ものづくり」(仮)  
梅田 靖 東京大学大学院工学系研究科教授
- ・話題提供「発展途上国における創造的問題解決のための設計支援」(仮)  
青木 翔平 東京大学大学院工学系研究科 研究室博士課程3年
- ・討論：「途上国における技術の在り方」に関する枠組み  
(メンバー自己紹介を交えて)

17:30

懇親会

1月24日（土）

9:30 - 12:00

研究会

- ・討論：「途上国における技術の在り方」に関する枠組み（続き）

(11:30-12:00

昼食)

12:00

研究会終了